



東京国立博物館公式キャラクター
ユリノキちゃん トーハクくん

総合文化展情報

特集「おひなさまと日本の人形」

2 月 27 日(火)～3 月 18 日(日) 本館 14 室

かわいらしいものを尊ぶ日本の美意識

今年には関東地方の人形に焦点をあてた展示を行います。江戸の有力な豪農であった日比谷家伝来の古今雛など、富裕層の雛人形とともに、庶民の雛人形もあわせて展示することで、関東における雛文化を概観します。また、日本の人形の一例として、嵯峨人形や賀茂人形といった関西で製作された木彫人形も展示します。



古今雛 末吉石舟作
江戸時代・文政 10 年 (1827)
山本米子氏寄贈

特集「東京国立博物館コレクションの保存と修理」

3 月 13 日(火)～4 月 8 日(日) 本館特別 1 室

文化財も人間も、長生きのためには健康診断は欠かせません

文化財の公開と保存を両立し、未来へと伝える—これは、博物館の大きなミッションのひとつです。本特集では、昨年修理を終えた作品を中心に、狩野益信筆「年中行事図屏風」など全 17 件を展示し、文化財を長く後世に伝えていくための当館の取り組みをご紹介します。



年中行事図屏風 狩野益信(洞雲)筆
江戸時代・17 世紀 諏訪多辰治氏寄贈

「博物館でお花見を」

3 月 13 日(火)～4 月 8 日(日) 本館

展示室と庭園で、たくさんの桜が満開！ トーハクは意外な桜の穴場スポットです

桜にちなんだ名品と、さまざまなイベントで、春の上野を一層盛り上げます。

春の庭園開放

開放期間を延長しました！

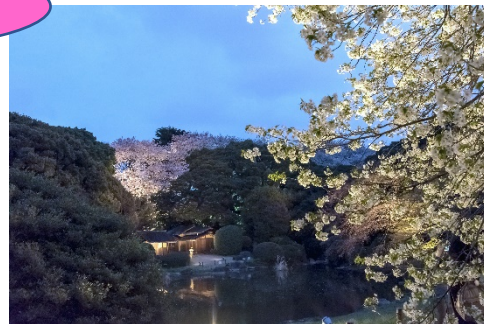
3 月 13 日(火)～5 月 20 日(日) 10:00～16:00

* 3 月 30 日(金)・31 日(土)、4 月 6 日(金)、7 日(土)は

ライトアップを実施(19:30 まで) * 右画像は過去のライトアップの様子

* 悪天候により中止になる場合があります

期間限定でさくらカフェもオープン。桜を愛でながら、くつろぎのひとときを。



〇お問い合わせ 東京国立博物館 広報室 〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9
TEL: 03-3822-1111(代表) FAX: 03-3822-2081 E-mail: pr@tnm.jp URL: http://www.tnm.jp/

〇プレスリリースをダウンロードできます。

特別展などのプレスリリースをウェブ上で公開しています。当館ウェブサイト、トップページ下にある「プレスの方へ」をご覧ください。

特集「呉昌碩とその時代」

～3月4日(日) 東洋館8室

熱狂的なファンを持つ清朝最後の文人

書・画・印に妙腕をふるった呉昌碩(1844～1927)は、清王朝の掉尾を飾る文人として知られています。終生にわたって紀元前5世紀ごろの古代文字・石鼓文の臨書に励み、その風韻を書・画・印に結実させました。呉昌碩の没後90年にちなみ、魅力あふれる作品を概観し、その業績を顕彰します。台東区立書道博物館との連携企画第15弾です。



墨梅自寿図軸
呉昌碩筆 中国
中華民国14年(1925)
青山杉雨氏寄贈

歴史の記録

～3月18日(日) 本館15室

正確さと美しさを兼ね備えた実測図

当館には、歴史を伝える作品や資料が多く伝来します。これらは江戸幕府から引き継がれたものを基礎に、明治5年(1872)の博物館創立当時から収集されてきたものです。右図は、文化6年(1809)から8年にかけて、伊能忠敬とその測量隊が九州を実測した成果に基づく地図(伊能図)です。伊能忠敬の実測図をはじめとした江戸時代の地図をご紹介します。



重要文化財
九州沿海図(小図)
伊能忠敬作
江戸時代・19世紀

「橋本コレクションの近代絵画」

3月6日(火)～4月15日(日) 東洋館8室

素晴らしいコレクターの審美眼に触れる

橋本末吉氏(1902～91)は戦後、中国書画の収集に力を注ぎました。それまで評価の定まっていなかった近現代の書画の価値を、いち早く見抜いた同氏のコレクションは、世界的な評価を得ています。

今回の展示では、厚みのある色彩の諧調が美しい清時代末の上海の画家や、海外体験を通じて中国絵画の近代化を進めた中華民国時代の画家の作品を中心にをご紹介します。



富貴一品図軸
真然筆 中国
清時代・19世紀
個人蔵

黒田記念館 特別室開室

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> >> 展示をご覧ください

3月26日(月)～4月8日(日)

多くの洋画ファンに愛される黒田の代表作が一堂に

黒田清輝の代表作「湖畔」、「智・感・情」、「舞妓」(以上、重要文化財)、「読書」の4件を、特別室にて期間限定で公開します。

祇園の舞妓を描いた「舞妓」は、9年におよぶフランス留学から帰国した黒田が、その秋京都に滞在して描いた作品です。鴨川の明るい水面を背景に、出窓に座って話す舞妓を逆光でとらえています。舞妓の着物には、赤や黄といったさまざまな色のタッチが散りばめられ、明るい輝きに満ちた作品です。



重要文化財 舞妓
黒田清輝筆 明治26年(1893)

特別展情報

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> >> 展示をご覧ください

特別展「仁和寺と御室派のみほとけ一天平と真言密教の名宝一」

～3月11日(日)

お待ちかねの、あの秘仏がついに！！

2月14日(水)からは会期後半。お待ちかねの秘仏2体がついに公開となります。

葛井寺の本尊、国宝 千手観音菩薩坐像は、奈良時代につくられた、日本における現存最古の千手観音像として知られています。実際に千本の手をあらわす千手観音像は、本像を除くと日本には数例しかありません。本像は毎月18日と8月9日のみ開扉される秘仏で、関東にお出ましになるのは、江戸時代以来のことです。

もう1体は、11世紀後半から12世紀前半にかけて活躍した、当時を代表する仏師 円勢^{えんせい}とその子 長円^{ちやうえん}の作である国宝 薬師如来坐像。仁和寺北院の本尊で、大御室・性信親王^{おおむむろしやうしんしんのう}の念持仏であった薬師如来像が火災によりほとんど焼失してしまった後、すぐさま作り直されたのが本像。像高わずか12センチの白檀精緻に彫刻し、木地に直接金箔で文様をほどこした美しい仏像です。秘仏がみられる貴重な機会です。ぜひお見逃しなく！



国宝 千手観音菩薩坐像

奈良時代・8世紀 大阪・葛井寺蔵
展示期間:2月14日(水)～3月11日(日)



国宝 薬師如来坐像

円勢・長円作
平安時代・康和5年(1103)
京都・仁和寺蔵
展示期間:2月14日(水)～3月11日(日)

報道関係お問合せ:特別展「仁和寺と御室派のみほとけ」広報事務局(ユース・プランニングセンター内)

TEL:03-3406-3419 E-mail:ninnaji2018@ypcpr.com 展覧会公式サイト:<http://ninnaji2018.com/>

創刊記念『國華』130周年・朝日新聞140周年

特別展「名作誕生一つながる日本美術」

4月13日(金)～5月27日(日)

教科書で見た、あの名品が一堂に！！

作品同士の影響関係や共通する美意識に着目し、地域や時代を超えたさまざまな名作誕生のドラマをご紹介します。例えば、伊藤若冲(1716～1800)の作品には、既成の形を再利用して新たな造形を作るという表現上の特徴があります。画風を模索していた頃には中国の宋元画を模写し、また生涯を通じて同じモチーフの同じ型を繰り返し描いて、独自の表現に至りました。若冲作品を、宋元画の模倣と自己模倣という切り口でご覧いただきます。

会期中、展示替えがあります。前期展示は～5月6日、後期展示は5月8日です。作品リストは追ってウェブサイトにてお知らせします。



重要文化財

仙人掌群鶏図襖

江戸時代・18世紀 大阪・西福寺蔵

報道関係お問合せ:「名作誕生」展広報事務局(ユース・プランニングセンター内)

TEL:03-3486-0575 E-mail:meisaku2018@ypcpr.com 展覧会公式サイト:<http://meisaku2018.jp/>

<講演会>

■日本文化との出会い「宮廷の雅(みやび) 十二単着つけ実演」事前申込制

なかなか見る機会のない、十二単を着つけていく様子をご覧ください。何枚もの衣を重ねていく過程は必見です。

日時:2月23日(金) (1) 14:00～、(2) 18:00～ ※開場は開演の30分前。各回内容は同じ。1時間程度。

解説:ハクビ京都きもの学院 総院長 大塚純子 ※日本語・英語解説あり。協力:ハクビ京都きもの学院

会場:平成館大講堂 定員 380名(先着順) 聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込締切:2月8日(木)必着。※当日受付も可能。当日受付の入場は開演20分前から

■月例講演会「黒田清輝と明治の洋画―東アジア美術の視点から」

黒田清輝が日本洋画に果たした役割や、東アジアの油彩画における明治洋画の特異性を概観します。

日時:3月31日(土) 13:30～15:00 *開場は開始の30分前(予定)

講師:山梨絵美子(東京文化財研究所副所長)

会場:平成館大講堂 定員 380名(先着順) 聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)

<ワークショップ・ツアー>

■日本文化との出会い「きもの体験」

日本の伝統衣装を着ることで、日本の美意識や生活文化を感じていただくプログラム。外国人のお客様にも大人気です。

日時:3月27日(火)～4月8日(日) 11:00～16:30 (受付は～16:00) ※体験は1人1着、所要30分。

会場:本館特別4室 定員:各日30名(当日会場で受付、先着順) ※定員に達した場合、受付を終了することがあります

参加費:500円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は別途当日の入館料が必要)

協力:ハクビ京都きもの学院

<イベント>

■日本文化との出会い トーハク能「嵐山」

毎年恒例の「博物館でお花見を」にもちなんで、春の能「嵐山」を上演します。桜の木に宿る神々が舞う、後場(後半)を、「白頭」の演出をご覧ください。*日本語・英語解説あり。スマートフォン、タブレット等ご自身の端末に表示されます。

出演:本田光洋師(シテ方金春流) ほか

日時:3月30日(金) 18:40～ ※開場は開演の30分前。解説を含め60分程度。

会場:平成館大講堂 定員:380名(当日受付を含む) ※全席自由

参加費:無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームよりお申込みください。1回につき1名様のお申込み可能。当日受付も可能です。

申込締切:3月15日(木)必着。

お知らせ

■開館情報

3月26日(月)と4月2日(月)は、特別開館します。